

平成27年度

滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書



滝川市いじめ根絶シンボルマーク最優秀作品

平成28年8月

滝川市教育委員会



## はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、その報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。また、その際、客観性を確保する観点から、教育委員会以外の学識経験者による知見の活用を図ることとされています。

滝川市教育委員会は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、学識経験者、保護者、関係団体から成る「滝川市教育委員会の権限に属する事務の外部評価会議」からご意見等をいただきながら、平成24年度から執行している「滝川市教育推進計画」に基づき、教育委員会の事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、報告書を作成いたしました。

この点検・評価報告書を通じて施策の効果の検証と改善を図りながら、教育施策を着実に推進していきたいと考えていますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成28年8月

滝川市教育委員会

## 目 次

### 1 教育委員会の活動状況について

(1)教育委員会の会議の開催状況 .....	1
(2)条例・規則等の制定、計画等の策定状況について .....	4

### 2 教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書

(1)点検・評価の視点 .....	5
(2)点検・評価の流れについて .....	5
(3)評価の方法について .....	5
(4)点検・評価項目について .....	6
教育委員会の活動状況に関する点検・評価項目一覧 .....	7
(5)点検・評価に関する報告書	
I-1 確かな学力の育成 .....	8
I-2 豊かな人間性の育成 .....	9
I-3 健やかな体の育成 .....	10
II-6 市立高等学校の充実 .....	11
III-9 不登校等問題行動のある児童生徒への支援の充実 .....	12
V-12 「いつでも・どこでも・だれでも」学べる生涯学習の推進 .....	13
V-15 文化財保護・活用の推進 .....	14
V-16 図書館活動の充実 .....	15
V-17 博物館活動の充実 .....	16
V-18 社会教育施設の整備充実 .....	17

# 1 教育委員会の活動状況について

## (1) 教育委員会の会議の開催状況

滝川市教育委員会の会議は原則として公開で、毎月1回を基本として開催するほか、必要に応じて臨時会議を開催しています。また、滝川市教育委員会が所管する事項について調査及び研究を行うことにより様々な教育課題に対する活発な議論を行うため、滝川市教育委員協議会を設置しています。

### ①教育委員会議

16回開催しました。

H27.04.28	報 告	①3月分児童生徒の教育相談等における状況報告について
	議 案	議案第1号 滝川市郷土館条例施行規則の一部を改正する規則 議案第2号 滝川市社会教育委員の委嘱について
	その他	①各所管の年間業務計画について ②運動会の日程について
H27.05.08	報 告	①滝川市高等学校教育のあり方に関する検討市民会議について
	その他	①滝川西高等学校の定員調整について
H27.05.26	報 告	①教育部補正予算について ②4月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ③一般財団法人滝川生涯学習振興会の経営状況について
	議 案	選挙第1号 委員長の選挙について 議案第1号 委員長職務代理者の指定について 議案第2号 滝川市学校管理規則の一部を改正する規則
H27.06.01	議 案	議案第1号 平成27年度教育行政執行方針について
H27.06.06	議 案	議案第1号 滝川市議会に対する意見の送付について
H27.06.30	報 告	①第2回市議会定例会代表質問について ②公立高等学校配置計画案(平成28年度～平成30年度)について ③5月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ④社会教育施設の利用状況について
	議 案	議案第1号 滝川市教育委員会事務局職員の任免について 議案第2号 滝川市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
H27.07.28	報 告	①6月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②いじめの問題に関する児童生徒の実態把握に係る調査の概要と考察
	議 案	議案第1号 平成28年度に使用する小学校用教科用図書の採択について 議案第2号 平成28年度から使用する中学校用教科用図書の採択について 議案第3号 平成28年度に使用する高等学校用教科用図書の採択について
	その他	①外国語指導助手の採用について
H27.08.24	報 告	①教育部補正予算について

		②7月分児童生徒の教育相談等における状況報告について
	議案	議案第1号 滝川市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 議案第2号 滝川市教育委員会事務局事務決裁規程の一部を改正する規程
H27.09.24	報告	①第3回市議会定例会一般質問について ②8月分児童生徒の教育相談等における状況報告について
	議案	議案第1号 滝川市個人情報等の適正管理に関する規程の一部を改正する規程
	その他	①全国学力・学習状況調査の公表等について
H27.10.27	報告	①9月分児童生徒の教育相談等における状況報告について
	議案	議案第1号 滝川市教育委員会会議規則の一部を改正する規則
H27.11.24	報告	①教育部補正予算について ②10月分児童生徒の教育相談等における状況報告について
	議案	議案第1号 滝川市美術自然史館条例の一部を改正する条例 議案第2号 滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について
H27.12.22	報告	①第4回市議会定例会一般質問について ②平成27年度学校給食費収納状況について ③11月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ④教育支援委員会議の概要について ⑤いじめの問題に関する児童生徒の実態把握に係る調査の概要と考察について ⑥成人式の実施について ⑦滝川市郷土館分館屯田兵屋の管理の変更等について
	議案	議案第1号 滝川市美術自然史館条例施行規則の一部を改正する規則
H28.01.25	報告	①12月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②東栄市民プールの廃止について
	議案	議案第1号 滝川市小・中学校適正配置計画(平成28年度～平成32年度)について
	その他	①平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表について
H28.02.17	報告	①教育部補正予算について ②1月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ③出願状況について
	議案	議案第1号 平成28年度教育行政執行方針について 議案第2号 平成28年度教育予算について 議案第3号 地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 議案第4号 滝川市学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例 議案第5号 滝川市水泳プール条例の一部を改正する条例 議案第6号 滝川市農村環境改善センター条例及び滝川市郷土館条例の一部を改正する条例
	その他	①卒業式について
H28.03.18	報告	①滝川市高校学校教育のあり方に関する検討市民会議について
	議案	議案第1号 学校職員の処分内申について

	その他	①滝川西高等学校の定員調整(学級減)について
H28.03.29	報 告	①第1回市議会定例会代表質問について ②2月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ③平成27年度卒業式における国旗・国家の実施状況について ④平成27年度卒業生進路決定状況について ⑤屯田兵文書の道文化財の指定について
	議 案	議案第1号 滝川市教育委員会事務局事務決裁規程の一部を改正する規程 議案第2号 滝川市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則 議案第3号 滝川市郷土館条例施行規則の一部を改正する規則 議案第4号 道費負担教職員の任免に係る内申について 議案第5号 滝川市立学校教員及び滝川市教育委員会事務局職員の任免について
	その他	①入学式について ②辞令交付式

## ②教育委員協議会

9回開催しました。

開 催 日	調 査 及 び 研 究 内 容
H27.04.16	・公立高等学校配置計画地域別検討協議会について ・滝川市内における高校のあり方について
H27.04.28	・滝川市内における高校のあり方について
H27.05.26	・平成27年度教育行政執行方針(案)について
H27.06.01	・平成27年度教育行政執行方針(案)について
H27.07.28	・総合教育会議について
H27.09.24	・滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価について
H27.12.22	・図書館の休館日設定等について ・滝川市小・中学校適正配置計画(案)について ・総合教育会議について
H28.01.25	・平成28年度予算要求の概要について ・滝川市小・中学校適正配置計画(平成28年度～平成32年度)(案)について
H28.02.17	・平成28年度教育行政執行方針について ・滝川西高等学校の定員調整について

(2) 条例・規則の制定状況等について

平成27年度に制定又は改正された教育関係条例の数は5件、教育委員会規則の数は7件です。(施行年月日がH27.5.1～H28.4.1のもの)

①教育関係条例等

題 名	施行年月日
滝川市美術自然史館条例の一部を改正する条例	H28.4.1
滝川市農村環境改善センター条例及び滝川市郷土館条例の一部を改正する条例	H28.4.1
滝川市水泳プール条例の一部を改正する条例	H28.4.1
地方公務員法及び独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	H28.4.1
滝川市学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例	H28.4.1

②教育委員会規則

題 名	施行年月日
滝川市郷土館条例施行規則の一部を改正する規則	H27.5.1
滝川市立学校管理規則の一部を改正する規則	H27.5.27
滝川市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則	H27.8.25
滝川市教育委員会会議規則の一部を改正する規則	H27.10.28
滝川市美術自然史館条例施行規則の一部を改正する規則	H28.4.1
滝川市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則	H28.4.1
滝川市郷土館条例施行規則の一部を改正する規則	H28.4.1

## 2 教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について

### (1) 点検・評価のための視点

点検・評価に当たっては、次の視点を持って進めます。

#### ① 市民の視点

市民やサービスの受け手、関係する企業や団体などの公的サービスに対するニーズの多様化や変化を的確に把握し、迅速に対応できているか、お客様の視点に立って仕事のあり方を見直します。

#### ② 職場活性化の視点

職員が自らの仕事のあり方について評価することで、仕事を客観的に見つめ直し、コスト意識やサービス精神の改善につなげるとともに、一人ひとりが組織目標を常に考え、柔軟で効率性を考えた取組を進めます。

### (2) 点検・評価の流れについて

#### ① 点検・評価シートの作成

事業・事務の成果を分析・検証するために点検・評価シートを作成します。



#### ② 外部評価の実施

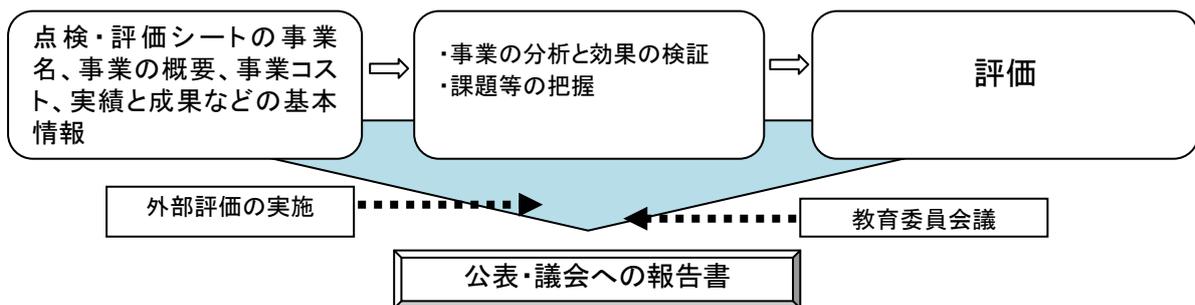


主管課長が作成した点検・評価シートに基づき、学識経験者等と各課とのヒアリングを実施し、内部評価に対して客観的な意見を述べていただきます。

#### ③ 点検・評価の報告書作成

### (3) 評価の方法について

#### ① 点検・評価のあらまし



## ②項目別評価

事業の成果を測定するとともに課題を把握し、より良い事業の展開に向けた改善へとつなげていくため、次の2つの視点で評価を行いました。

### 評価の視点

評価の視点	項目の説明
期待どおりの効果があったか	事業の目的を達成するために行った事業について、効果等を分析・検証した結果、期待する成果があったか。
施策の目的を達成するため、事業の見直し等の余地があるか	上記について、より成果を上げるため、事業の見直しを行う必要があるか。

ランク	内容
A	期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する
B	ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある
C	概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である
D	期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

## (4) 点検・評価項目について

平成24年度からは「滝川市教育推進計画」に基づき点検・評価を行っています。

平成27年度は、特に重点的に取組んだ10事業について点検・評価を実施しました。

※次項の「教育委員会の活動状況に関する点検・評価項目一覧」参照

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

施策番号	I-1	施策名	確かな学力の育成
------	-----	-----	----------

目的 事業の	学ぶ意欲を高め、望ましい学習習慣を身に付けさせるとともに、自ら学び、自ら考え行動する力を育み、身につけた知識・技能を活用する能力の育成を図ります。そのため児童生徒の学力の実態を把握し、指導方法の改善を図るなど、個に応じたきめ細やかな学習指導を行います。
主要 事業 今年度の	<ul style="list-style-type: none"> <li>①少人数指導や習熟度に応じた指導の推進</li> <li>②放課後学習、家庭学習など学習習慣化の推進(滝川第二小学校をモデル校とした「学力・学習意欲向上事業」)</li> <li>③少人数学級実践研究事業(小学校3・4年生35人学級)の推進</li> <li>④学びサポーターの全校配置</li> <li>⑤外国語指導助手を活用した外国語教育の充実</li> </ul>
事業の 実績と 分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>①少人数指導(T・T指導)や習熟度に応じた指導の推進・・・習熟に応じた指導を行うことを通して小学校算数の基礎基本の定着を図ることができ指導の成果が見られた。配置数 小学校6人 中学校2人(前年度と同数)</li> <li>②放課後学習、家庭学習など習慣化の推進・・・各学校において「家庭学習の手引き」の活用を図った。「学力・学習意欲向上事業」のモデル校となった滝川第二小学校では、中学校区としての「学びの手引」を作成し、家庭学習の習慣化を図った。</li> <li>③小学校3・4年生の35人学級・・・きめ細かい見守りと指導の充実ができ、また教師が子どもと向き合う時間が増え個別の支援に成果があった。27年度⇒第一小3年生・第二小3年生</li> <li>④学びサポーターの全校配置・・・困り感のある子の学習支援や発達に課題のある子など個別の指導と支援をはかり、担任と連携により安定した学級運営と指導支援の向上に成果があった。27年度⇒14人配置</li> <li>⑤外国語指導の充実・・・英語教師のアシスタント役としてALTを5名配置して、英語教育の充実を図った。</li> </ul>
課題	各事業、一層の充実を図るために継続した取り組みが必要とされるが、特に、小学校3・4年生の35人学級については、5・6年生になると40人学級に戻ることから少人数指導の充実が必要と考える。

評価シートによる判定	
総合評価 ランク	<p><b>評価の視点1 期待どおりの効果があったか</b> 学力向上の施策や滝川独自の人的配置の取組などの施策により、基礎基本の定着が見られた。また、家庭学習の習慣化については、1日1時間以上勉強する割合が小学校・中学校ともに増加した。</p> <p><b>評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか</b> 少人数学級実践事業の対象学年の拡充や家庭学習の習慣化につながる施策のさらなる充実を図りたい。</p>
A	

事業の今後 の方向性	28年度も引き続き施策を継続するとともに、学力や学習意欲が高まる施策を展開する。 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統廃合 <input type="checkbox"/> 質的向上 <input type="checkbox"/> スピードアップ <input type="checkbox"/> 検証 <input type="checkbox"/> 継続
---------------	---

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

施策番号	I-2	施策名	豊かな人間性の育成
------	-----	-----	-----------

目的	子どもの発達段階に応じた、規範意識や公正な判断力、粘り強くたくましく生きる力、自他の生命を尊重する心、共に助け合って生きることの体得など、基本的な倫理観を身に付けさせるとともに、郷土に愛着を持ち、郷土で育ったことに幸せと誇りを持って語ることができる、日本や世界で活躍する子どもを育成します。
主要事業	①道徳教育の推進 ②心の教育推進事業の充実 ③読書活動の充実
事業の実績と分析	①道徳教育の推進・・・児童生徒に生命を大切に作る心や思いやりの心、倫理観や規範意識など道徳教育の充実のため、道徳の研究授業や実践発表会を通じて教職員の指導資料の発行を行うとともに、教育委員会HPにおいて研究成果を発信し、その充実を図ることができた。 27年度 ⇒3校の研究授業と実践発表の資料集の配布・HPでの研究成果の発信、北海道道徳教育推進校事業指定(1校) ②心の教育推進事業の充実・・・いじめや不登校など児童生徒の問題行動の実態把握、早期発見・早期対応を図るための体制の充実を図ることができた。また、学校配置のスクールカウンセラーが教育相談など効果的な活動が出来た。 27年度⇒学校訪問事業年2回実施、スクールカウンセラーの相談件数 小学校325件(26年度406件)・中学校644件(26年度599件) ③読書活動の充実・・・図書館と連携して本に触れる機会を増加させ、学校の朝読書や学級文庫など読書活動の充実に成果があった。
課題	①道徳教育の推進・・・子どもたちの心に響き、心を耕す道徳授業の内容が一層充実するよう実践研究や教材開発の支援を行う。また、道徳の教科化に向けた研究を推進する。 ②心の教育推進事業の充実・・・いじめや不登校等問題行動の対応にあたり、学校と教育委員会が連携して実態把握や子どもの個別の予防対策など、きめ細かい取り組みが必要である。

評価シートによる判定	
総合評価 ランク	評価の視点1 期待どおりの効果があったか 「いじめはあってはいけないこと」の意識化について小中学校ともに向上が見られたが、100%になるよう道徳指導や学校における児童生徒の主体的活動を一層支援し、さらに推進しなければならない。
B	評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか 子どもたちや保護者等からの情報を得るための相談・通報体制の充実といじめ防止に関わる関係機関・団体との連携を深める必要がある。

事業の今後の方向性	引き続き事業を実施し、成果を上げるよう推進する。 ■拡充    □縮小・統廃合    □質的向上    □スピードアップ    □検証    □継続
-----------	---

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

施策番号	I-3	施策名	健やかな体の育成
------	-----	-----	----------

目的	<p>規則正しい、望ましい生活習慣の定着や豊かで健全な食生活の実現、運動や遊びを通じた体力の向上、歯の健康を守るための予防活動など、健康で安全な生活を営むための自己管理能力のある子どもの育成を推進します。</p>
主要事業	<p>①食育の推進(バランスの良い栄養摂取と食事マナーを身につけさせるとともに、生産者等を通じて地場産品の学習、交流給食の実施等)</p> <p>②歯科など保健指導の推進(むし歯の予防、小学校におけるフッ化物洗口の全校実施)</p> <p>③体力向上の推進</p>
事業の実績と分析	<p>①食育の推進・・・各小学校において農業体験活動や生産者を招いた交流給食を実施したり、たまねぎやアスパラ、完熟トマト、リンゴ等地場産食材を積極的に活用した献立内容の充実を図るなど、食育の推進に努めた。朝食の摂取率は、中学3年生が全国全道平均を上回り上昇したが、小学6年生は全国全道平均を下回り、朝食を摂らずに登校している児童がいることから、引き続き食育指導及び生活習慣の改善に向けた取り組みが必要である。</p> <p>②歯科など保健指導の推進・・・24年度より市内全小学校においてフッ化物洗口事業が開始となり、27年度においては、目標率の達成はできなかったものの実施率はほぼ横ばいで、事業の効果が期待できる。</p> <p>③体力向上の推進・・・教育振興会による体力向上事業や各小学校が1年生から新体力テストの一部実施、授業以外での体力向上に関する取組等を行い、課題であった走力について、伸びが見られたものの、全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果では依然走力に関わって全国平均を下回った。</p>
課題	<p>①食育の推進・・・食育の推進については、給食の時間や学級活動等における取り組みを促進するとともに、子どもに規則正しい生活環境を定着させるため、就学前からの取り組みを関係機関と連携し充実させることが大切である。</p> <p>②歯科など保健指導の推進・・・フッ化物洗口事業については、24年度中途からの全小学校での実施のため、効果の検証は現時点では難しいが、毎年度の歯科検診結果等により、事業効果の検証を進めていく必要がある。</p> <p>③体力向上の推進・・・調査結果等の分析をした上で、学校ごとに目標を設定したり、校内研修の実施や一校一実践の見直しをするなど体力向上を図る取組を進めていく必要がある。</p>

評価シートによる判定	
総合評価 ランク	<p><b>評価の視点1 期待どおりの効果があったか</b></p> <p>フッ化物洗口事業は全小学校での実施を継続し、実施率(77.1%)はほぼ横ばい。食育の推進については、滝川の特産品をしっている児童が約4%減少したものの、少数ではあるが知っている特産品の種類は増加している。</p> <p><b>児童が体力向上については、全国調査の結果からは十分な成果は得られなかった。</b></p> <p><b>評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか</b></p> <p>食育の推進については11年目になる地産地消給食等を通じ滝川市特産品の情報発信や生産者等への感謝する心を抱かせる効果へつなげていきたい。</p> <p>体力の向上については、各校の状況に応じた体力向上に向けての取り組みを進めていくことが必要である。</p>
B	

事業の今後の方向性	<p>来年度以降も食育の推進及びフッ化物洗口実施率の向上に向けて引き続き取り組んでいく。また、小中学生の体力・運動能力の向上を図るため、各校が調査結果の状況を踏まえて体育指導に活かす取り組みや校外活動において体力向上に向けた取り組みを推進するよう働きかけるとともに、教育振興会による体力向上事業を推進していく。</p> <p> <input type="checkbox"/> 拡充                   <input type="checkbox"/> 縮小・統廃合                   <input type="checkbox"/> 質的向上                   <input type="checkbox"/> スピードアップ                   <input type="checkbox"/> 検証                   <input checked="" type="checkbox"/> 継続             </p>
-----------	--

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

施策番号	Ⅱ-6	施策名	市立高等学校の充実
------	-----	-----	-----------

目的 事業の	[文武両道]の精神のもと、規律を重んじる校風を高め、地域の期待に応える高校教育を推進するとともに、時代の変化に対応した市立高校の将来を展望したビジョンを策定し、地域や日本、世界に貢献する人材の育成を図る。
主要 事業 今年度 の	①英語教育及び国際理解教育の推進 ②キャリア教育の充実 ③教育環境の整備・充実
事業の 実績と 分析	① 英語教育及び国際理解教育の推進…全ての授業をオールイングリッシュで実施、JICA等国際機関と連携したグローバル体験の創出、外国語指導助手(ALT)の配置、米国ロングメドール高校への短期留学の実施、ベトナム・カンボジアスタディツアーへの生徒の派遣、滝西・英語教育改善セミナーの開催 【成果】外国語指導助手(ALT)を1名増員2名配置とし、ALTとの英語会話授業を全生徒に受けさせることが出来た。短期留学交流10周年を記念して、ロングメドール高校と姉妹校提携調印を両校で行い、友好関係を深めることが出来た。将来の国際人として活躍できる人材育成を目的とした文部科学省の指定事業「スーパー・グローバル・アソシエイト」に指定された。 ②キャリア教育の充実…3年間を見通した計画的なキャリア教育の実施、ガイダンス機能の強化・充実、上級学校の体験学習やインターンシップの参加・実施等 【成果】国公立大学への合格者数や就職決定率に効果が反映された。 ③教育環境の整備・充実…非構造部材補強工事(体育館及び格技場)、鉄骨階段補強工事、体育館ステージ壁修理 【成果】緊急・優先度を考慮して改修・整備した。
課題	・平成30年度北海道公立高等学校配置計画の定員調整(学級減)を受け、学科転換を含めた検討が必要である。 ・施設・設備や教材・教具等の改修・整備を計画的に行っているが、施設の老朽化による電気・水道設備等の改修が必要である。

評価シートによる判定	
総合評価 ランク	評価の視点1 期待どおりの効果があったか 目標値を上回ったのは、就職決定率が6年連続で100%、全商検定3種目以上1級合格者が51人の2項目のみだが、昨年度の実績より英語検定と簿記検定の合格者が、微増しているなど、ほぼ期待どおりの効果を上げていると考える。
A	評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか 今後も順次、施設・設備や教材・教具等の改修・整備を行う必要がある。

事業の今後の 方向性	市立高等学校は、平成30年度に定員調整(学級減)が行われ、1間口減となり、減ずる学科及び学科転換を検討している。今後においても、一人一人の個性や能力・適正に応じた教育に努め、西高の特色である英語・国際理解教育や先進的な商業・ビジネス教育を中心に、学科の特性を生かした活気ある学校づくりを行い、選ばれる高校をめざす。また、入学者定員を充足するためにも、施設・設備や教材・教具等の改修・整備など、計画的に行いながら、事業の継続・充実を図っていくことが必要である。 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統廃合 <input type="checkbox"/> 質的向上 <input type="checkbox"/> スピードアップ <input type="checkbox"/> 検証 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
---------------	--

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

施策番号	Ⅲ-9	施策名	不登校等問題行動のある児童生徒への支援の充実
------	-----	-----	------------------------

<b>目的</b>	<b>事業の</b>	不登校や学校になじめない児童生徒の学校・学級復帰を実現するため、登校への意欲化や基本的な生活習慣の見直しなどの支援を行い、自立心を持たせ、自信の回復を目指す指導や教育相談の充実を図ります。
<b>主要事業</b>	<b>今年度の</b>	①適応指導教室運営の充実 ②教育相談体制の充実
<b>事業の実績と分析</b>		①適応指導教室の充実・・・個別の実態に即した学習指導やコミュニケーション力の育成を図ることができた。また、支援センターの機能や周辺環境を活かした体育活動・調理活動等多様な体験活動が実施ができ、活動の充実が図られた。 ②教育相談体制の充実・・・支援センター内に専用の相談室を設置したことにより、関係する保護者との教育相談や関係学校の担任との打合せなど効果的に活用できた。また、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーと連携した教育相談も可能となり、きめ細やかな相談体制の充実を図ることができた。 ③不登校の人数では、27年度は26年度とほぼ同様の人数で推移している。昨年度から引き続いての学校と教育委員会との連携した取り組みにより効果が表れたものといえる。
<b>課題</b>		本市の児童生徒の不登校者のうち、多くは自宅に引きこもる状態である。このことから学校と教育委員会が連携し、当該児童生徒への効果的な対応について検討・実施することが必要である。また、小学校在籍時から複数年にわたるものもあり、保護者と連携した対策も必要である。

評価シートによる判定	
<b>総合評価 ランク</b>	<b>評価の視点1 期待どおりの効果があったか</b> 適応指導教室の児童生徒の学校復帰については、完全には実現できず課題があるものの、不定期ながらも教室登校や相談室登校などができる生徒も4名おり、自立に向けてのきっかけとして効果があった。
<b>A</b>	<b>評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか</b> 不登校児童生徒の未然防止に向けて、学校で初期の段階から保護者との情報共有を図る。

<b>事業の今後の方向性</b>	不登校教室の受け入れを近隣市町に拡大したことから、連携した対応を展開し、指導支援内容の充実を目指すとともに、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーとの連携の強化に努める。 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統廃合 <input type="checkbox"/> 質的向上 <input type="checkbox"/> スピードアップ <input type="checkbox"/> 検証 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
------------------	---

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>施策番号</b>	V-12	<b>施策名</b>	「いつでも・どこでも・だれでも」学べる生涯学習の推進
-------------	------	------------	----------------------------

<b>目的</b>	「いつでも・どこでも・だれでも」が学び、成果を生かした生涯学習を推進するため、生涯学習情報をインターネット等を通じて発信するとともに、学びの仲間づくりや成果発表の機会の拡充など、子どもから高齢者まで生涯各期の生き生きとした生涯学習活動を推進します。
<b>主要事業</b>	①「子どもの育成」をテーマとした地域力活性化事業(継続) ②地域おこし協力隊を活用した一般財団法人滝川生涯学習振興会(以下:リブラーン)との連携(新規) ③児童生徒がスマホ等電子機器を安心・安全に利用できる環境づくり
<b>事業の実績と分析</b>	[事業の分析] ①各地区育成会においては、西地区、東地区と東滝川地区合同での通学合宿に加え、北地区と江部乙地区が合同でふれ愛の里コテージを使つての宿泊学習を行うなど、地域の大人の支援によって体験メニューが更に充実した。また、中地区では見守り用のベストをそろえ、登下校の見守りを実施したところ、校区内の不審者の報告がほぼなくなるなど効果をあげた。通学合宿や見守りなど地域の特性を生かした活動を通じ、地域力を活かした事業が進められている。 ②生涯学習事業をより効率的・効果的に進めるため、10月に地域おこし協力隊を採用した。平成27年度は、リブラーンの事業協力や、市内で行われている各講座に出向いての調査を行い、今後の連携方法や情報提供についての方針ができた。 ③携帯電話販売店を訪問し、スマホ等へのフィルタリングの徹底を要請するとともに、滝川市PTA連合会研究大会において児童生徒のインターネット利用をテーマに課題や取り組みについて議論するなど、電子機器を安心・安全に利用できる環境づくりへの機運が高まった。 [効果の検証] ①各地区の事業の精度が上がり、関わる支援者の満足度も高くなっている。学校の協力も年々積極的となり、地域・家庭・学校をつなぐ役割を各地区育成会が認識していることは評価できる。 ②福寿大学におけるリブラーンや短大との連携を進めるための基礎ができたことは評価できる。 ③滝川市PTA連合会研究大会は、道教委からも注目され、道教委が設置する「北海道子どもの生活習慣づくり実行委員会」のモデル事業に指定され、保護者等に次の取り組みについての必要性を引きだすことができたことは評価できる。
<b>課題</b>	①前年に引き続き、市街地での事業展開が未着手に終わった。地域が実現したいことを引きだし、その“持ち味”を生かして地域力を発揮することが、地域の役割であると気づいてもらうことが課題。 ②将来的に高齢者学習をリブラーンに移行していくために、現在の福寿大学の仕組みを見直し、スムーズに移行していくことが課題。 ③スマホ等の所有率が高まるなかで、継続的かつ効果的な取り組みや、学校・保護者・企業との連携の仕組みづくりが必要。

評価シートによる判定	
<b>総合評価 ランク</b>	評価の視点1 期待どおりの効果があったか ①全市的な波及もあり、期待どおりの効果があった。 ②基礎づくりができ、期待どおりの効果があった。 ③特に保護者の機運を高めることができ、期待どおりの効果があった。
<b>A</b>	評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか ①各地区にて青少年育成会の自発的な動きが生まれているので、事業の見直しは必要ない。 ②目標にむけて進んでいるため、事業の見直しは必要ない。 ③目標にむけて進んでいるため、事業の見直しは必要ない。

<b>事業の今後の方向性</b>	①青少年育成会を核とした地域づくりの流れができつつあることから、市内7地区青少年育成会が「子どもの育成」をテーマに地域の“持ち味”を生かした事業を通じて、地域コミュニティの強化につながるよう今後とも支援をしていく。 ②リブラーンや短大との情報交換・連携を密にし、福寿大学を民間に移行するための仕組みをつくる。 ③インターネットの使い方について児童生徒が自らの課題としてとらえられるよう、実態調査や普及活動を行う。
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 質的向上 <input type="checkbox"/> スピードアップ <input type="checkbox"/> 検証 <input checked="" type="checkbox"/> 継続

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

施策番号	V-15	施策名	文化財の保護・活用の推進
------	------	-----	--------------

<b>目的</b>	市民の財産である指定文化財を保存するとともに、それらを活用した講演会などの事業に取り組むなど、後世に文化財の魅力を伝える語り部の育成に取り組めます。
<b>主要事業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屯田兵屋の斜材設置工事の実施</li> <li>・指定文化財「屯田兵第二大隊第三中隊文書」の北海道文化財指定に向けた資料整理</li> </ul>
<b>事業の実績と分析</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屯田兵屋の斜材設置工事を実施し指定文化財の保護を図った。</li> <li>・郷土館が収蔵する「滝川屯田兵文書(第二大隊第三中隊・第四中隊文書)」が北海道の有形文化財(歴史資料)に指定された。</li> </ul>
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定文化財は市の歴史を学ぶ上での貴重な資料であるが、小・中学校での郷土学習において見学等での文化財活用についてはほとんど実施されていない。</li> <li>※平成27年度より文化財の保護・活用に関する業務は、資料管理の一元化も鑑み、郷土館の所管部署である美術自然史館に移管された。</li> </ul>

評価シートによる判定	
<b>総合評価 ランク</b>	<p><b>評価の視点1 期待どおりの効果があったか</b> 斜材設置工事を施したことで屯田兵屋の保存状態が改善された。</p> <p><b>評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか</b> 今後も文化財保護を進めていくとともに、活用する仕組みを模索するために何らかの取り組みの検討を進める必要がある。</p>
<b>B</b>	

<b>事業の今後の方向性</b>	<p>今後も「まちの財産」が消失しないよう文化財として価値のある資料を確実に保存しつつ、その価値を活用する方策を探る。</p> <p> <input type="checkbox"/> 拡充                   <input type="checkbox"/> 縮小・統廃合                   <input type="checkbox"/> 質的向上                   <input type="checkbox"/> スピードアップ                   <input type="checkbox"/> 検証                   <input checked="" type="checkbox"/> 継続             </p>
------------------	--

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

施策番号	V-16	施策名	図書館活動の充実
------	------	-----	----------

目的 事業の	生涯学習及び地域の情報拠点として、市民の課題解決に役立ち、様々な情報に触れることができる図書館を目指し、蔵書充実、読書環境整備、情報収集と発信などの充実を図る。また、豊かな心と考える力を育むため、子どもの読書活動の普及を推進する。
主要 事業 今年度の	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生涯学習拠点としての図書館の充実</li> <li>○子ども読書活動の推進</li> </ul>
事業の 実績と 分析	<p>■役に立つ魅力ある図書館づくりとして、図書と併せて行政やまちなかなどの幅広い情報の提供や各種のソフト事業により読書普及を推進した。また、貸出文庫を活用したことにより、様々な場所で読書環境が拡大した。さらに、ブックスタートの実施によって、乳幼児期からの絵本による親子の触れ合いづくりと読書習慣形成が進展した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入館者数は約16万人と高い水準を保っている。貸出冊数ではほぼ目標値であり、全国平均水準で推移している。ソフト事業についても、6千人を超える参加者があり、役に立つ魅力ある図書館として、市民に認知されているものと考えられる。</li> <li>・連携展示は、前年の2倍以上と大幅に伸び、多くの人々が利用する図書館が情報発信ツールとして活用されている。さらに市役所以外の機関団体との展示も行われ、広がりを見せている。</li> <li>・子どもの読書活動の推進については、団体貸出により全小中学校へ図書館学級文庫として貸出を行ったほか、学童クラブや保育所・幼稚園、乳幼児健診などでも貸出文庫が活用され、本に触れる機会が増加している。また、ブックスタートは、健診後においても図書館で配布を行ったことから100%を超える配布率となり、読書のきっかけづくりが進んでいる。</li> </ul>
課題	<p>生涯学習拠点としての図書館の充実：引き続き蔵書の充実、ソフト事業の実施、積極的な情報発信による情報拠点機能の維持が不可欠であるが、スクラップアンドビルドによって、効率化を図りながら実施する必要がある。</p> <p>子ども読書活動の推進：学校をはじめ地域・幼稚園・保育所等との連携維持が不可欠である。</p>

評価シートによる判定	
総合評価 ランク	<p style="text-align: center;"><b>評価の視点1 期待どおりの効果があったか</b></p> <p>入館者数、貸出冊数、ソフト事業参加人数は良好で、まちなかの図書館が定着したものと考えられる。さらに、市役所以外の機関団体でも連携展示が行われ、情報発信の幅が広がっている。子どもの読書活動の推進についても、子どもたちが利用する施設での利用が伸びており、読書機会の増加につながっている。</p> <p style="text-align: center;"><b>評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか</b></p> <p>利用者ニーズを適切に把握しながら、特色ある蔵書充実を図るとともに、積極的な情報発信を継続する必要がある。併せて、再度利用したいと思っただけのサービスとホスピタリティ向上を図る必要がある。</p>
<b>A</b>	

事業の今後 の方向性	<p>生涯学習及び地域の情報拠点として、さらに「市民に親しまれ頼りになる使いやすい図書館」を目指して、図書館の基盤である蔵書の充実と各事業実施に取り組む。また、子どもの読書活動については、子どもの読書活動推進計画に沿って各事業を関係各機関等と連携を深めながら推進する。</p> <p> <input type="checkbox"/> 拡充                <input type="checkbox"/> 縮小・統廃合                <input checked="" type="checkbox"/> 質的向上                <input type="checkbox"/> スピートアップ                <input type="checkbox"/> 検証                <input checked="" type="checkbox"/> 継続         </p>
---------------	---

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

施策番号	V-17	施策名	博物館活動の充実
------	------	-----	----------

<b>目的</b>	道内の博物館や美術館と連携し、様々な特別展や個性豊かな普及事業を開催するとともに、タキカワカイギュウや岩橋英遠など収蔵資料の研究や関連資料の収集を進め、地域博物館としての役割を充実します。
<b>主要事業</b>	<p>①特別展の開催 「英遠と万寿三 創作のひみつ」「あべ弘士～動物のいのちかがやく森～」「滝川は昔、海だった～化石ワールドで遊ぼう～」「搜索！ミュージアムコレクション」(事業費 3,203千円)</p> <p>②普及事業や教育普及活動の実施「デッサン会」「土曜日カ広場」「月イチリカ室」「わくわくサイエンス」「出前講座」など(事業費 586千円)</p> <p>③美術自然史館の2階常設展示室(3室)を市民ギャラリーとして開放するための改装を実施</p> <p>④科学教育関係者・関係機関等と連携を図り「滝川わくわく科学フェスティバル」を開催</p>
<b>事業の実績と分析</b>	<p>・3館合計の入館者数については、前年比1,522人増であった。年間パスポートの発行数及び年間パスポート持参のリピーター数は減ったものの、増となった要因としては、札幌青少年科学館による移動式プラネタリウムを上映した「滝川わくわく科学フェスティバル」(来場者704人)及び平成26年度から引き続き2回目の開催となった「春休み こども広場」(来場者1,723人)の実施によるものと考えられる。</p> <p>・2階の常設展示室(3室)に新たにピクチャーレールを敷設。貸しギャラリーとして市民のみなさんが気軽に個展やグループ展を催すことができ、館としてもコンパクトな企画展の開催が可能となる展示室に改装し、新たな賑わいの場を目指した。</p> <p>・科学実験教室や科学イベントを通して科学教育活動を実践するNPO法人「butukura」の主催により、新たに「滝川わくわく科学フェスティバル」を開催。当日は札幌青少年科学館等の協力も得て、滝川高校化学部ほか10ブースを超える団体が参加。市内の子どもたちに、普段接する機会が少ない各種科学の実験・工作等に触れる機会を提供することができた。</p>
<b>課題</b>	<p>●学校との連携を継続し、地域の教育施設としての安定した活用について学校に働きかける</p> <p>●貸しギャラリーの利用増加に向けたPR方法</p>

評価シートによる判定	
<b>総合評価 ランク</b>	<p><b>評価の視点1 期待どおりの効果があったか</b> 美術自然史館においては、著名な絵本作家のあべ弘士氏を招いた企画展を実施し、こども科学館でも新たな事業を開催するなど、館の特徴を生かした個々の取組みが全体的な入館者増につながった。</p>
<b>B</b>	<p><b>評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか</b> 今後も来館者に満足してもらえる企画展や普及事業を実施し、入館者の増に結びつける。あわせて博物館の使命である収集・保存・調査研究に取り組む。</p>

<b>事業の今後の方向性</b>	<p>①日本画家・岩橋英遠の芸術及び北海道の天然記念物であるタキカワカイギュウの企画展等を展開しながら、それぞれの魅力を発信していく。</p> <p>②こども科学館においては、「月イチリカ室」、「土曜日カひろば」など身近な素材を用いた科学の実験・工作を通じて子どもたちの科学に対する関心や興味を広げる事業を継続する。</p> <p>■拡充   □縮小・統廃合   ■質的向上   □スピードアップ   ■検証   ■継続</p>
------------------	--

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

施策番号	V-18	施策名	社会教育施設の整備充実
------	------	-----	-------------

<b>目的</b>	<b>事業の</b>	市民の社会教育活動を支える施設を整備するとともに、今後の人口規模や利用状況に照らし合わせた社会教育施設の配置計画を策定し、継続した社会教育活動が進められる環境づくりに取り組みます。
<b>主要事業</b>	<b>今年度の</b>	①スポーツセンター第2体育館の耐震改修工事の実施 及び 第1体育館の改修工事実施設計。 ②新パークゴルフ場整備工事実施 ③B&G海洋センター棧橋及びトイレ改修工事実施
<b>事業の実績と分析</b>		①スポーツセンター第2体育館の耐震改修工事及び第1体育館の耐震等改修工事の実実施設計を行い、避難所としての安全性を確保しつつ、暖房設備の更新、トイレ改修など利用者の利便性等も向上させた。 ②新パークゴルフ場については2期目の工事を完了。次年度(H28)に駐車場、コース備品設置工事等を予定し、整備工事を完了する見込みで、H29オープンを予定する。 ③B&G海洋センター棧橋及びトイレバリアフリー化工事を実施。障がい者の方の利便性を向上させた。また、パラカヌー競技艇の配備をB&G財団に要請したところ、寄贈いただき、パラカヌー競技の推進及び合宿誘致の推進を進める上での環境整備が進んだ。
<b>課題</b>		①屋外スポーツ施設の整備について、計画的な進め方の検討が必要。 ②文化センターを含め、文化ゾーンに位置する施設はいずれも改修の課題を抱えており、個別の施設改修ということではなく、ゾーンとして持続可能な施設運営を視点においた計画策定が必要。

評価シートによる判定	
<b>総合評価</b>	評価の視点1 期待どおりの効果があったか 実施を予定した事業についてはすべて予定通り完了。
<b>A</b>	評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要あるか 検討課題(屋外スポーツ施設、文化ゾーン等)について、継続的に検討を行い計画策定等を実施する。

<b>事業の今後の方向性</b>	体育施設ではスポーツセンター第1を平成28年度までに耐震化等工事を終わらせ、文化芸術施設については、方針・スケジュールについて、スピードを上げて決定していく。 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統廃合 <input type="checkbox"/> 質的向上 <input checked="" type="checkbox"/> スピードアップ <input type="checkbox"/> 検証 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
------------------	---